

心のバリアフリー教育グッドプラクティス 応募資料

学 校 名	浦安市立堀江中学校	
ア 全校児童生徒数	679人	(令和4年5月1日現在)
イ 実践対象 (学年・人数など)	1学年(6学級):228名 全校生徒:679名	
ウ 実践内容 (実施時期・概要など) ※画像の挿入可	<p>①障がい者理解、多様な考え等を受け入れる心の育成を目指した「パラスポーツ体験会」の実施</p> <p>9月:生徒への事前調査、実施団体との調整 12月:事前学習・・・体育理論(一部保健分野)にて、スポーツの意義並びに、パラスポーツの文化について 1月:「パラスポーツ体験会」の実施(1・2時間目) ～ シットイングバレー体験 ～ 順天堂大学スポーツ健康科学部 渡 教授、学生</p>  <p>2月:事後学習・・・体育理論、道徳授業にて、体験後の振り返りと、パラスポーツに関する調べ学習 障がい者との関わり、各自の生き方や考え方に關するまとめ</p> <p>②花いっぱい運動(11組) 9月:社会福祉協議会との調整(球根の受け取り) 10月:プランターへの植え付け、学校内外への設置</p> <p>③地域クリーンアップ活動(保護者も含めた地域交流活動) (全校生徒) 10月:学区内をクラスごとに分担し、地域の美化活動を実施 保護者及び、自治会にも周知</p> <p>※雨天のため中止。 11組の生徒と職員のみで花植えを実施した。</p>	

<p>エ 実践の普及啓発 (地域等との交流や 広報方法など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙(学校だより、学年だより)等に掲載(各家庭配布、校内掲示) 年度末保護者会での紹介(学年保護者会) 学校ホームページに体験の様子を掲載(予定)
<p>オ 実践成果 (児童生徒の変化など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者スポーツの歴史的な背景等について学び、共生社会への理解を深めることができた。 ・障がい者スポーツの普及活動団体の取り組みを通して、社会貢献や自分にできることの探求心を育成することができた。 ・障がいの有無に関わらず、困っている人に声をかけるなど当たり前のことを実践することの大切さを学んだ。 ・地域貢献の活動を通して、様々な人々が係る社会において、受容する気持ち、相手を尊重する考え方が支え合う土台になっていることを学ぶことができた。
<p>カ 次年度の予定 (課題や改善策など)</p>	<p>①特別支援学級とのパラスポーツ交流体験授業 現在実施学年が全学年ではないため、全学年との交流となるよう年間的な計画となるよう年度当初に立案する。</p> <p>②地域クリーンアップ活動</p> <p>ア 生徒主体の活動へ・・・生徒会、専門委員会からの提案にし、生徒主体の取組としたい。</p> <p>イ 保護者の参加増加・・・PTA本部役員と一部の役員のみでの参加となっているので、事前の周知方法の改善や連絡の徹底をする。 開催日や時間についても検討</p>
<p>キ 添付資料 (広報資料・Web記事など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページに掲載

※A4サイズ2ページ以内に調整すること。